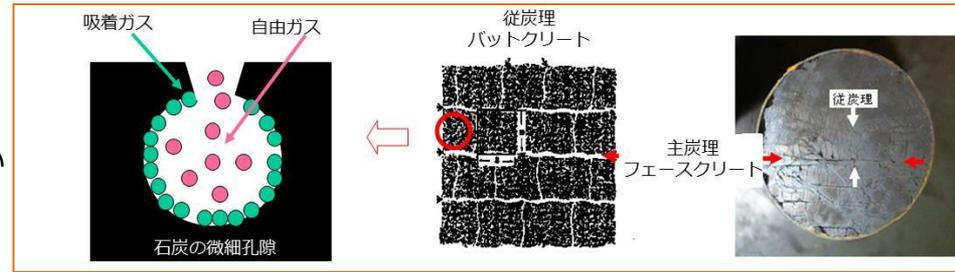


コールベッドメタン (CBM) とその資源量

炭層メタン (CBM) : 石炭層に含まれるメタンガス。石炭ができる過程で生成されたメタンガスが逸散することなく石炭の微細空隙内に吸着されている。非在来型天然ガスとも呼ばれ、アメリカ、オーストラリア、中国などでは既に大規模な商業生産が行われている。

- メタンガス濃度が高い (95 %以上) ➔ 天然ガスの利用技術・用途が適用可能
- 地表からのボーリングにより生産 ➔ 環境負荷が少ない
- クリーンなエネルギー ➔ 燃焼時のCO₂や汚染物質の排出が少ない
- 安定したエネルギー源 ➔ 太陽光や風力発電との組み合わせ

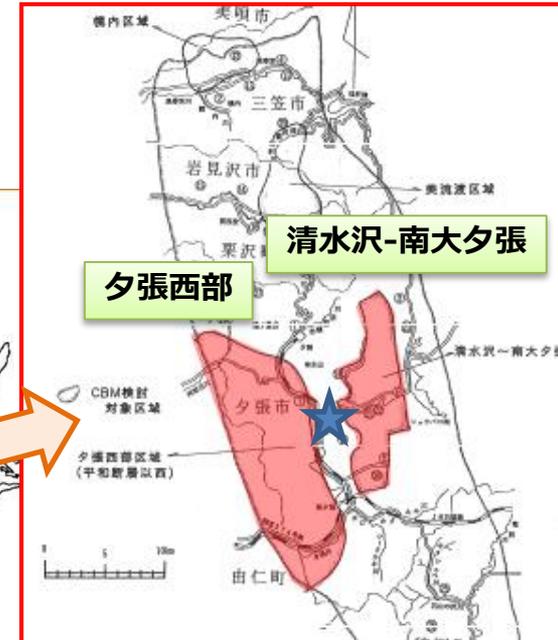
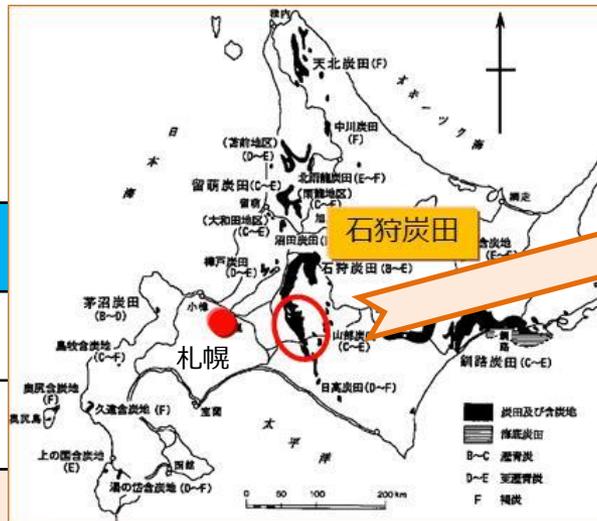


夕張のCBM資源量 : NEDOの調査 (1998年) では夕張清水沢地区に隣接する二つの区域をCBM有望地域として特定。

- 石狩炭田が我が国では最も有望な炭田で、中でも夕張地域には豊富なCBM資源が賦存
- 二区域の合計CBM資源量は77億m³ (夕張5,600世帯のエネルギー消費の1,000年分以上)
- 我が国の天然ガス生産量
約32億m³/年 (2012)*
- 勇払 (北海道) 天然ガス生産量
約3.6億m³/年 (2012)*

*天然ガス鉱業会, 石油・天然ガスノート, 2014)

	夕張西部	清水沢～南大夕張
面積 km ²	32.0	40.0
埋蔵炭量 億トン	2.8	5.3
CBM資源量 億m ³	26.6	50.4



NEDO: 国内CBM資源調査可能性調査(北海道地区), 1998